

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
30  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
40  
1

嘉永

四年

夏ノ  
孟阪

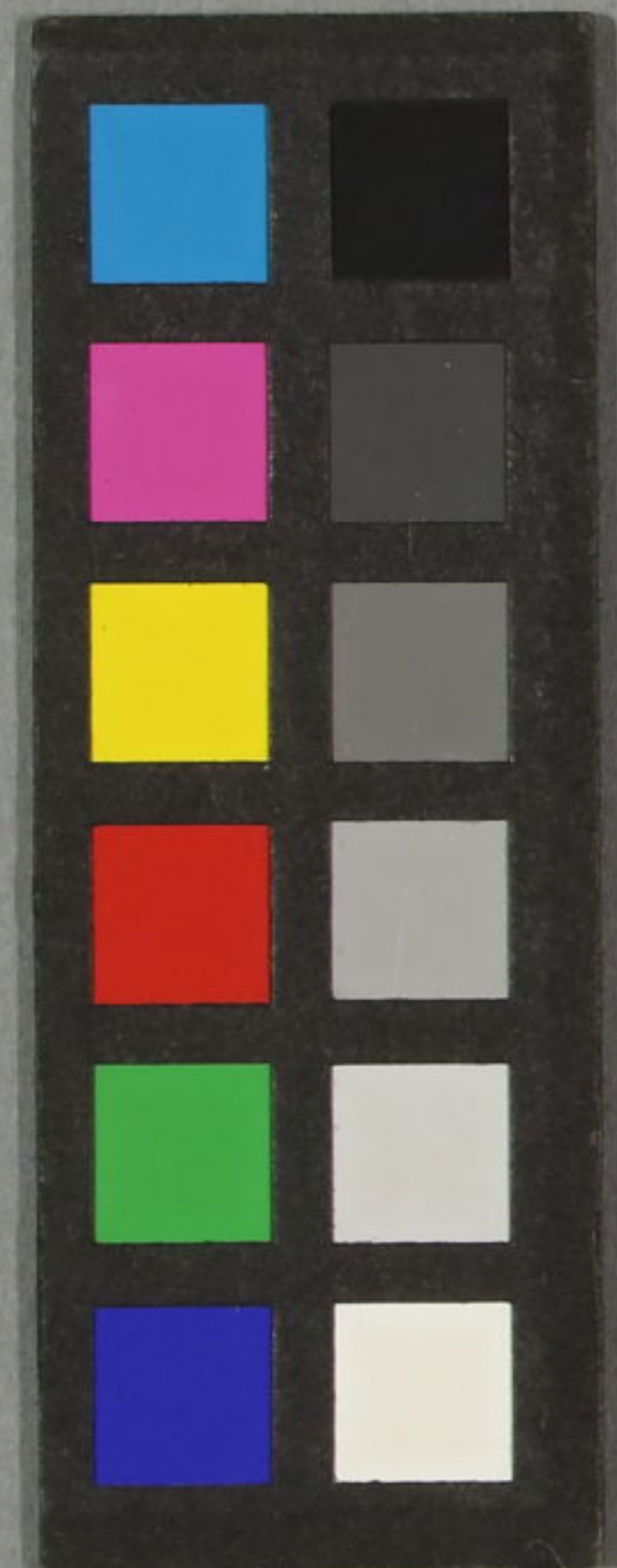
力亭應賀作

倭文庫拾編



上

~ 13  
3785  
41



門へ13  
號3785  
卷41

# 倭文庫

貳拾壹

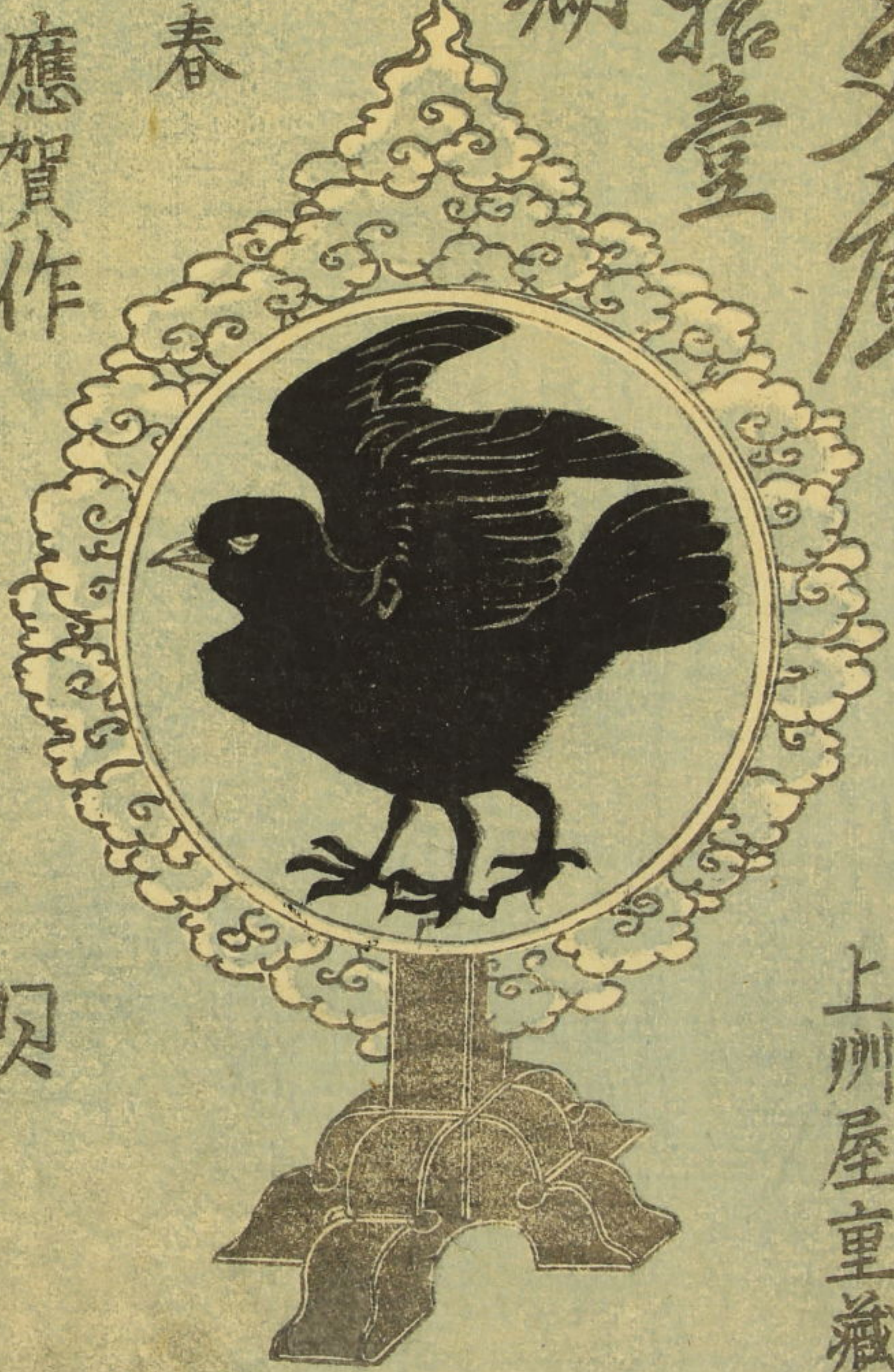
編

上

辛亥ノ春

万亭應賀作

一陽齋豊國画



元大坂町代地角  
上洲屋重藏板

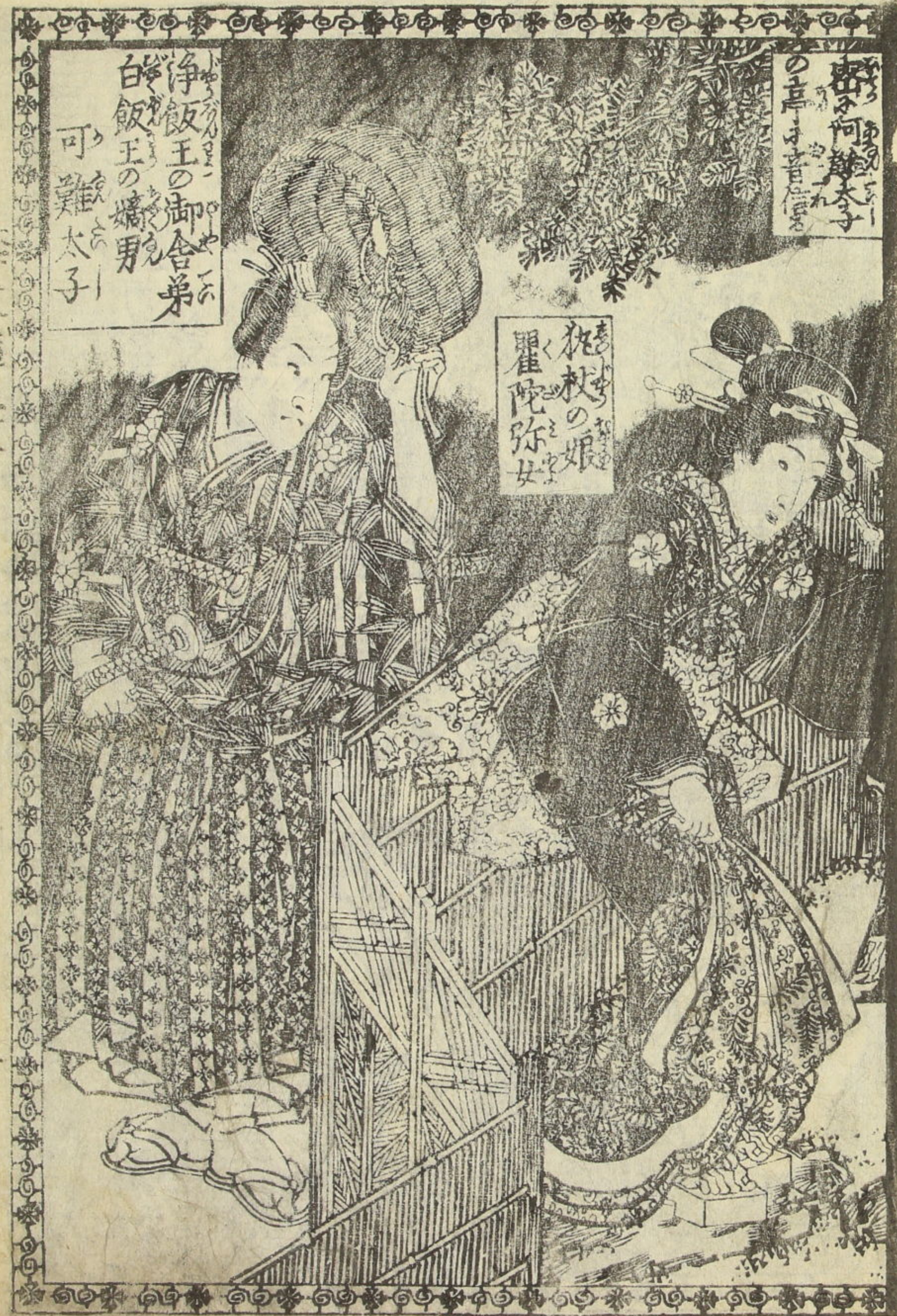
貝  
國編

釋迦八相倭文庫第二拾一編之序

夫極善動天地極惡亦動天地され功利天の帝釋天兜摩摩質多羅阿  
修羅王の舎掃夫人を奪取依之舎掃の聶羅阿修羅大不怒て十六  
万六千由旬の天身を現ト生涯の耻これ過ぎと四海の六軍をひて喜見城  
を責る帝釋六陣の隊と立守護とされと終六陣の軍乱て危けと  
善法堂少香世薫般若の空寂と講讀とを天帝の舎掃を連く  
須弥山(天道)の金翅鳥の卵ありこれと踏ぎて走れれば不殺生の徳  
あつて金翅鳥の助と受一此説を諸經の中より抄出く其高麥あり  
ぬ姫刀称とのお側へ出させ花まきるぬ此巻の評判を先希ふ

嘉永四年辛亥  
孟陽吉辰發行

万亭應賀誌

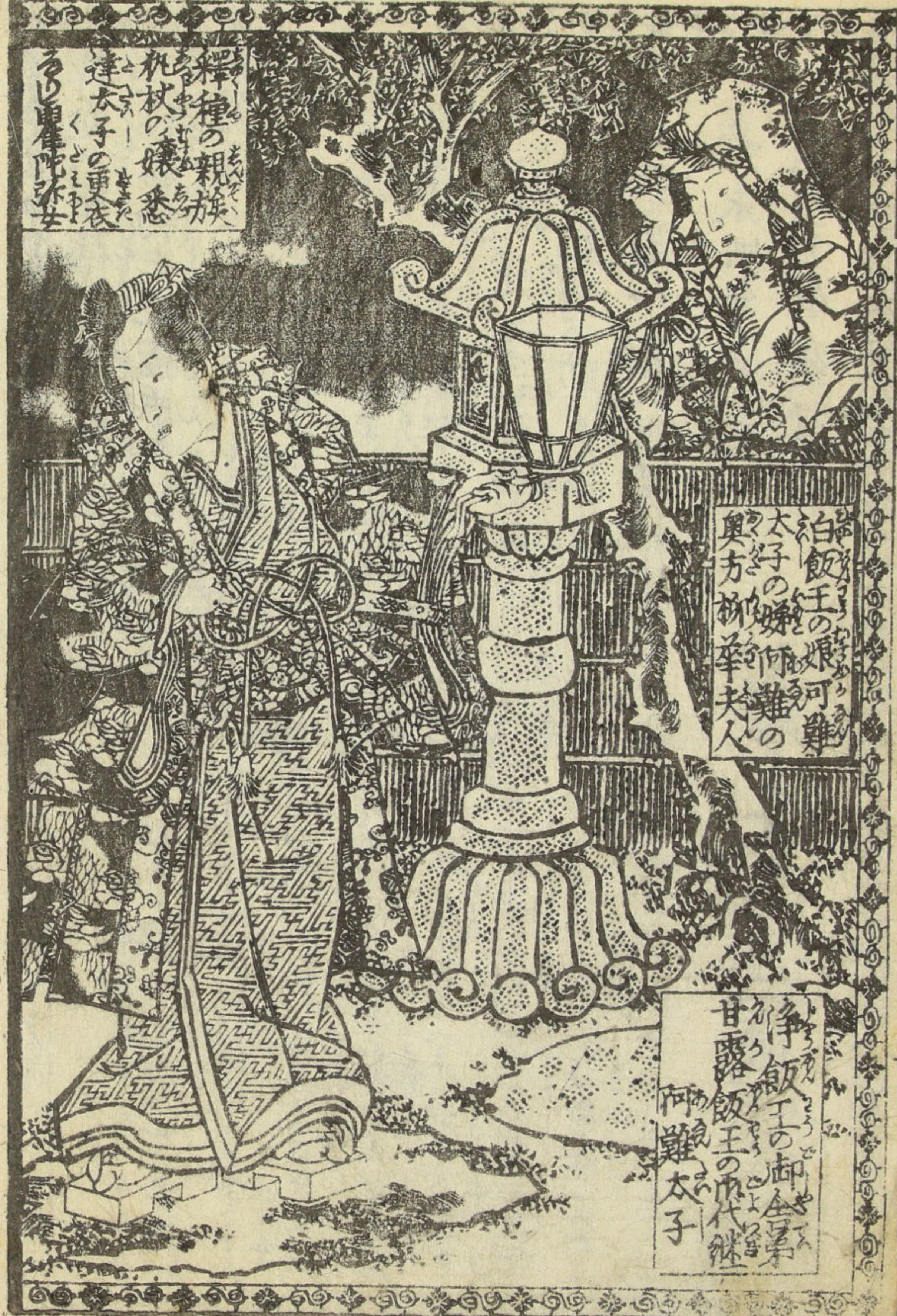


浄飯王の御舎弟  
白飯王の嫡男  
可難太子

阿難太子  
の母は音信

杖の娘  
瞿陀弥女

浄飯王の御舎弟



釋尊の親族  
杖の娘  
達太子の更衣  
る瞿陀弥女

白飯王の娘河難  
太子の嫡男  
奥方柳卒夫人

浄飯王の御舎弟  
甘露飯王の代継  
阿難太子

浄飯王の御舎弟



翅三百方里の  
金翅鳥

功利天の  
喜音城の  
帝釋天

帝釈天羅睺阿修羅乃  
軍の進を不殺生の功德の  
よき金翅鳥を助力と  
請たまふ

舎掃夫人の軍  
羅睺阿修羅



悉達太子  
の雪山  
開利

阿修羅の  
舎掃夫人

















# 應賀作豐國画



嘉永五年壬子春新板目錄

奥奉公 おんほうこう 娘一代成人双六 むすめいちだいじんじんすわく  
 一 万亭 應賀作 マンテイ オウガサク  
 一 陽齋 豐國画 ヨウサイ トヨクニガハ

奥奉公出世双六 おんほうこうしゅっせすわく  
 一 万亭 應賀作 マンテイ オウガサク  
 一 陽齋 豐國画 ヨウサイ トヨクニガハ

武藝立身館双六 ぶげいりっしんくわんすわく  
 一 万亭 應賀作 マンテイ オウガサク  
 一 陽齋 豐國画 ヨウサイ トヨクニガハ

日蓮記旭衣三編 にっぜんきあすひさんぺん  
 一 万亭 應賀作 マンテイ オウガサク  
 一 陽齋 豐國画 ヨウサイ トヨクニガハ

神代藻塩草二編 かみよしろしほくさにぺん  
 一 万亭 應賀作 マンテイ オウガサク  
 一 陽齋 豐國画 ヨウサイ トヨクニガハ

重榮御江戸繪圖 ちゅうえいごえどえず  
 奉書四枚半繪 ほうしょしほんぱんえず

